



高齢者、障害者に配慮した一般建築物

雇用促進事業団ポリテクセンター千葉 研修寮

所在地：千葉市若葉区愛生町165-2

施主：雇用促進事業団

千葉職業能力開発促進センター

設計：(株)榎本建築設計事務所

施工：長谷工・青山建設共同企業体



国際社会における日本の役割の一つとして、技術指導を通して国際貢献が様々な分野で求められている。千葉市稲毛区に建てられたこの施設は、国内の職業訓練をはじめ、技能検定やILO・JICAなどの国際的活動を支援するためのものである。

今回対象になったのは、既存施設の全体建て替え計画のうち、先行して建てられた研修寮である。

職業能力開発という目的を通して、若者から高齢者まで、健常者も障害者も気持ちよくのびのびと研修が受けられるように、随所に細かい配慮がなされている。全体として明るい印象を与える建物である。核となる食堂棟は、単独使用にも配慮し、ラウンジ、コミュニティーコーナー・テラスが一体感を持ちながら、内外を含めて開放的な設計がなされている。

特に肢体障害者用の1階の寮室においては、直接屋外にも出られるようにアルミサッシに細工をし、安全性・解放性を高めている。接地性を生かし、ビジター同士が行き来しやすくなる雰囲気を作り出している。

視覚や聴覚障害者の人達に対してもそれぞれの障害に合わせて細かな配慮がなされている。建物全体としては、アプローチ側を低層に押さえたことで、前面の広場とのつながりが良くなっていて、今後の計画が楽しみである。

この施設が、これからの国際交流や福祉の街づくりにとって一翼を担い、地域に開かれた場となって行くことを願っている。

(工藤和美 委員)